

Monday Night Special "Tango" Live

小松亮太
bandoneon

Ariel Asselborn
guitar, vocal

2018 02月19日(月)

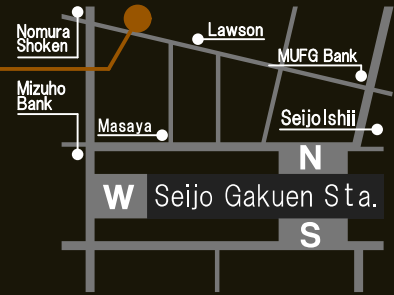
開場 19:00
開演 19:30~

(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 5000 円+2drinks order

CAFE BEULMANS
03-3484-0047
info.cafebeulmans@gmail.com
東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を
ご記載ください。



小松亮太

98年、ソニーミュージックよりCDデビューを果たして以来、国内はもとより、カーネギーホールやタンゴの本場ブエノスアイレスなどで、タンゴ界における記念碑的な公演を実現している。15年にリリースした大貫妙子との共同名義アルバム『Tint』は、第57回輝く！日本レコード大賞「優秀アルバム賞」を受賞。アルバムもすでに20枚以上を制作。「ライブ・イン・TOKYO~2002」がアルゼンチンで高く評価され、03年にはアルゼンチン音楽家組合(AADI)、ブエノスアイレス市音楽文化管理局から表彰された。13年にはアストル・ピアソラの「ブエノスアイレスのマリア」をピアソラ元夫人の歌手アメリカ・バルターと共演し、ライブアルバムをリリース。タンゴ界にとどまらず、ソニーのコンピレーション・アルバム「image」と、同ライブツアー「live image」には初回から参加。作曲活動も旺盛で、フジテレビ系アニメ『モノノ怪』OP曲「下弦の月」、TBS系列『THE世界遺産』OP曲「風の詩」、映画「グスコブドリの伝記」(ワーナーブラザーズ配給・手塚プロダクション制作)、「体脂肪計タニタの社員食堂」(角川映画)、NHKドラマ「ご縁ハンター」のサウンドトラックなど多数を手掛けている。

Ariel Asselborn

1976年アルゼンチン、ブエノスアイレス生まれのギタリスト、作曲家、シンガー・ソングライター。アルゼンチンのフォルクローレをルーツに、豊かな歌心と柔らかな音色のギターを奏で、澄んだ歌で南米作品のギター独奏、弾き語りを行う。アルゼンチン国内の数々の音楽コンクールでの優勝、ボリビア系グループロス・ライカスでの活動を経て、2003年より東京を拠点に移してソロ活動を開始。ギタリスト大萩康司などと共演の他、アルゼンチン音楽をルーツとした独自の作曲では、大萩康司(老いた賢者、風の道)、高田元太郎(小動物の組曲)より委嘱を受けて注目される。ソロアルバム「時には一輪の花を」、「大地に眠る歌」をリリース。レコード芸術、サライ、CDジャーナル、現代ギター、で高い評価を得ている。